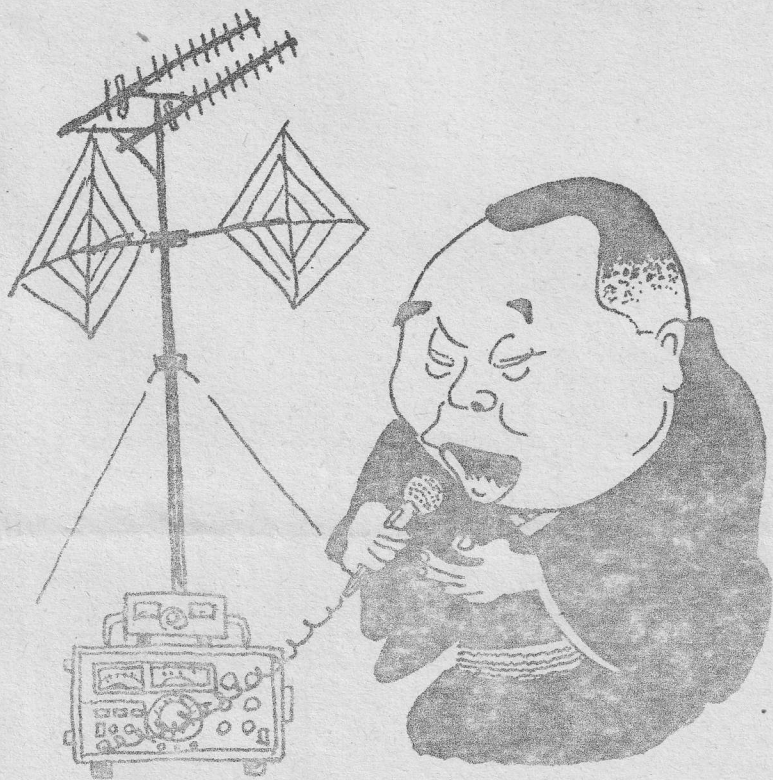


JARL

香川クラブ報

No. 175

Vol. 2. 15



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

昭和 52 年度

J A R L 香川クラブ通常総会 案内

本年度の通常総会を下記のとおり開催いたしますので、定款第 19 条に基づき御案内申し上げます。

会員多数の御出席をお願いいたします。

日 時 昭和 53 年 3 月 5 日(日) 午後 1 時から

場 所 高松市太田上町 太田南部公民館(広田神社の横)

(R193 塩江街道太田信号の西側)

議事次第

1. 開 会
1. 会長あいさつ
1. 議 長 選 出
1. 昭和 52 年度事業報告
1. 昭和 52 年度会計報告
1. 役 員 改 選
1. 香川県支部長あいさつ
1. 新役員あいさつ
1. 昭和 53 年度事業計画 (予算も含む)
1. そ の 他
1. 閉 会

《お 願 い》

- ① 総会の出・欠席について、同封のはがきで 2 月 28 日までに必ずご返事をお送りください。(J A S K W F まで)

なお、欠席の方は委任状を記入の上、提出してください。

- ② 当日、53 年度の会費(1,000 円)を御持参ください。

また J A R L 会費の取継ぎも当日いたします。

未加入の方は、この機会にぜひ入会しましょう。

私の趣味「素人無線局」の生いたち

J A 5 N O O 政 岡 平

そもそも私がエレクトロニクスとやらにしばれ出したのは戦後も間もないイ
が栗頭もにくたらしい小学校6年在学中の頃だったと記憶しております。

当時の事も大分忘れかけるような年令になりましたが、市内は見渡す限りの
焼野ヶ原で所々タン張りのバラック建が点在するくらいで、人様の姿もあま
り見当らず、まさにゴースタウンでした。

勉強するにも校舍はなく、焼残りの寺を借りての間借り授業だし、何よりも
一番困るのは食糧事情の悪い事で論外でした(当局だけかも?)。

来る日も来る日も如何にして空腹を満たすかはかりを考えて暮すような毎日
でしたので、およそ趣味と言うようなぜいたくは考えもつかず、又その言葉さ
え忘れ去ってしまったような時代でした。ただ、強いて言うなれば美味しい物を
腹一杯に喰ってみたいーこれが趣味でもあり、はかない夢でもあったような気
がします。

そんな味気のない生活の毎日でしたが、あの日、幸か不幸か出合ったのが区
少年でした。今日各局長さんにお会いできるのも彼のお蔭なら、『ハムキチ親
父』と家族に悪口をたたかれるのも彼の障りと、喜んで良いのか恨んで良いの
か妙な心境にさせられますが、彼は私より2才年上で旧制の中学へ通っていま
した。

彼は学校から帰ると勉強もそこそこに、屋根に昇ったり降りたり、ある時は
レシーバーをかぶり真剣な顔付きをしているかと思えば、ニヤニヤソワソワ/
彼奴この頃頭にきたのと違うかと押しかけ、見聞させて貰ったのが鉱石ラジオ
現在のゲルマーラジオでした。当時受信機といえば国民型何号とかいう並三か
並四くらいの物しかなく、それも何処の家庭にでもある時代ではなかったと思
います。子供心にその鉱石ラジオなる宝物が欲しくてたまらなくなり、毎日ね
だりに通いしましたが、返る返事はいつも NO ばかり。それでは「作り方を教え
ろ」、こちらは OK と話が決り、その日から勉強はそこのけで彼の家参りが始
まりました。

材料もあまり手に入りませんでしたが、なんとか彼が工面してくれ検波器は

兄の鉱石標本から方鉛鉱なるものを持ち出す始末で、なんとか3日掛りでやっと出来上りました。やれやれこれで自分の物が出来、今日からは誰に気兼ねもなく一人で聞けるんだと喜んだのもつかの間、肝心の耳レシーバーがありません。間抜けかトシマか、この時ばかりは2人ともあきれて大笑いしましたが、彼も同情してくれ片耳を1つ取って私にプレゼントしてくれました。

連続放送劇「鐘の鳴る丘」…緑の丘の赤い屋根……、並木路子さんの「リンゴの歌」等流れ出るメロディにうっとり！ 特に暖い真心のこもったレシーバーのせいかも知れませんが感無量でした。

それからと言うものは学業も何処えやら、明けても暮れても電気いじりに没頭するようになりました。作る物もケースバイステップで0-V-1から1-V-1、2-V-1とエスカレートし、小遣い銭はオール部品代に消えていました。シミツタレ精神を大いに発揮しPTシャーシと焼跡に転っている物は全部利用し、大阪の叔父からはOMのジャンクを送って貰っての悪戦苦闘でした。破れスピーカーのコーン張り替え、PTの捲直し、エミ減、ヒーター継線の真空管の活入れ等、今考えるだけでも馬鹿々々しい事をやっていましたが、そのうち近所の人に頼まれるようになり、部品代+アルファを頂戴し他人様の資金で趣味を楽しむようになりました。

しかし人間とはゼイタクなもので大好な趣味も毎日同じ事ばかりでは飽きにくるようです。そこで考えたのが自分の手で一度電波を飛ばしてやろうという事でした。又々例の材料集めが始まり、参考資料も古本屋で見つけた虫喰いも良いところのお素末なものでした。なんとか出来上ったのがファイナル6Z-P1のA1TXでした。RXは並三の同調コイルを取り替えた様なもので送信機というより発振器と言った方が早い様なお素末な物でした。ところが世の中思いとおりにならないもので、いよいよ試験電波発射の日あたふたと彼が駆け込んで来て申すには、アマチュア無線なるものは許可されておらず変な電波でも出そうものなら直ちにGHQとかいう恐いアメリカさんが来て、そこらにある物は全部没収され、親は呼出しを受け、こっぴどくしほられるとのリポートでした。何事も進駐軍の命に依りの一言で泣く子も黙る時代でしたので、折角苦労して作ったものの泣くなく諦めなければなりませんでした。

それから後には民放時代にはいり受信機もスーパーヘテロダイナ型が標準化し電気屋さんの店頭でもPBな物が見られる様になっていました。

さてそれから7年、彼は社会人に、私は勉強にそれぞれ忙がしくなり、趣味の方も、彼はBCLSWIに、私は音響にと分れ幾年も経って、フト気が付いた時は3人の親父になり趣味の方もトンと忘れていました。

それから又々良い年をして始め出したのがSWL。たまたま7MHzでローカル局を受信し、これだ！と飛び上がりました。念願のアマチュア無線局でした。

あちこちに問い合わせすと近日当香川クラブで講習会があるとの事で取る物も取らず申請しました。今更勉強とて中々憶えられず期日がせまればなおあせり、1つ憶えれば3つ忘れるような事でした。いよいよ選抜試験当日、『親父スベッテコイ』との声援をあとに試験場へ。問題を見て又ガクゼン。自分なりに判っていながら答が出ません。やるだけやらねばとタイムリミット一杯ねばった結果どうにか合格でした。

講習会の方は、どうもこんなボンクラ頭では不可能だと西讃クラブ J A 5 A B Y 局にお世話になり、駄目なら香川クラブ、それで駄目なら国試と三段構えとし、香川クラブに失礼しましたが観音寺へ通いました。

土曜半日、日曜一日とCMに差支えないスケジュールを組んで戴きましたので、高松から落後することなく無事参加できました。講師の先生方には大変申し訳ありませんが居眠りしながらも、お蔭様でどうにか合格させて戴き、徒免局免としばらくの日時はかかりましたが、やっと念願の無線局を開局できました。

思い起こしてから20数年、遠い昔の夢がやっと実現し、その時の喜び嬉しさ、又開局当初の初心者精神これだけはいつ迄も末長く心の奥にしまっておきたいと思います。

お蔭様で開局以来FBなOM各局長様にお会いでき、楽しいハムライフを過させて戴いております。……………

貴重な紙面をお借りし、とりとめもない下だらない事を書き立てました事を深くお詫び申し上げますとともに、今後とも各局長さんの御指導及び末長のお付合いの程をお願いして失礼致します。

73 2 88

Q,TH 変 更

J A 5 A A 〒 7 6 1 - 2 1 綾歌郡

J A 5 L I 〒 7 6 1 高松市

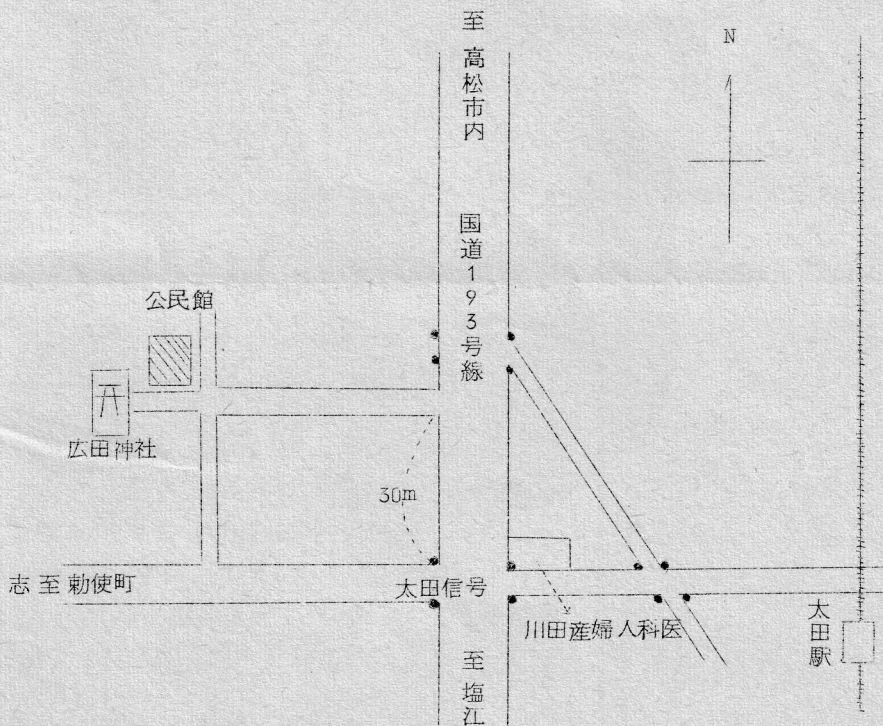
J A 5 J D U 〒 7 6 1 - 1 3 高松市

J A 5 C M 〒 7 6 1 高松市

(注)

高松南郵便局の新設に伴い、高松市及び香川郡の一部の郵便番号が変更になっております。念のため…………

太田南部公民館（総会会場）案内図



社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

発行責任者	JA5MQ	稲毛 章
編集者	JA5IKJ	青木 俊士
"	JA5IQP	合田口正春
"	JA5NBH	中崎 巖

連絡事務所 〒761-01 高松市高松町

清川 隆美 (JA5KWF)